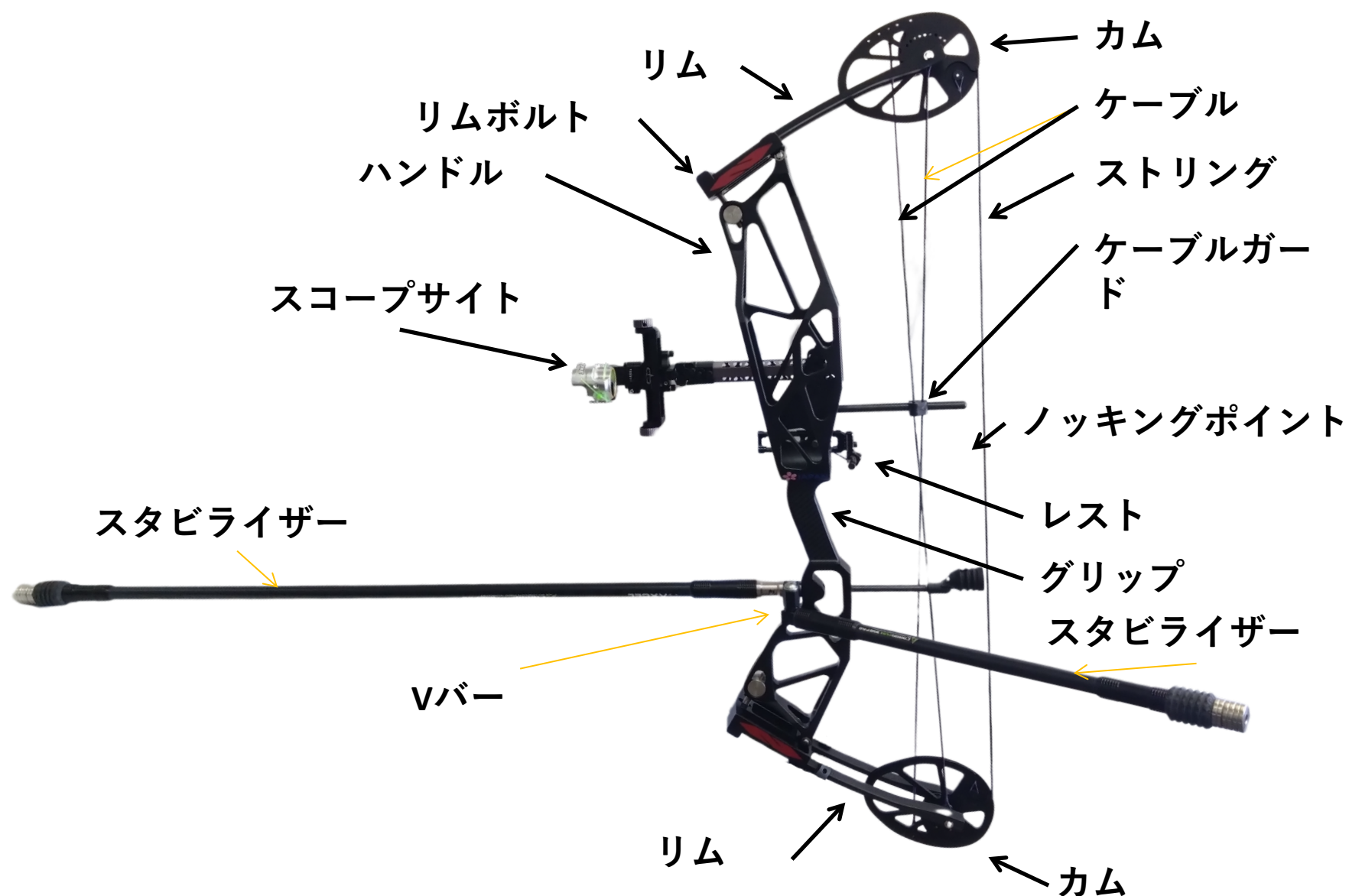


コンパウンドボウ

パラリンピックのアーチェリー競技で使用するコンパウンドボウを都産技研との共同研究により日本で初めて設計から本格的に開発しました。
コンパウンドボウの特徴は、カム・モジュールという滑車を装備することにより、弦を弾いて狙いをつける間に保持する力をピーク時の50%から75%程度、軽減することで筋力が弱い障害者でもアーチェリー競技をすることが可能となる弓具です。
特にアメリカではスタンダードなスタイルです。



日本で初めて設計から本格的に開発

障害者スポーツ研究開発事業（受託事業）
（東京都立産業技術研究センター）